

## 公開シンポジウム 「環境経済・政策学から見た生物多様性条約COP10 と日本の戦略」

- 開催日時：2010 年 9 月 12 日(日) 13:30-17:00
- 開催場所：名古屋大学東山キャンパス 経済学部カンファレンスホール  
(名城線名古屋大学駅 1 番出口より徒歩 3 分)
- 参加費：無料（環境経済・政策学会の学会員の方は、学術大会の申し込みの際に別途申し込みをお願い致します）
- 主催：環境経済・政策学会、名古屋大学環境学研究科

### ○趣旨

国連の定めた 2010 年生物多様性年を迎え、また本年 10 月に愛知県名古屋市で生物多様性条約の COP10 が開催されることもあり、生物多様性への関心が国内で急速に高まっています。生物多様性の損失をもたらす原因は人間の活動が主な要因であり、その影響が過去 50 年くらいの間に飛躍的に高まり、世界中の多くの地域で生物多様性の損失が深刻な課題となっています。本シンポジウムにおいては、生物多様性の保全と持続可能な利用について、グローバルな問題から市民の日常生活まで生活のレベルまでのさまざまな社会経済活動の中に組み込んでいく「生物多様性の主流化」の達成に向けて、米国ワイオミング大学から Barbier 教授を招聘し、基調講演頂くとともに、環境経済・政策学の役割と日本の戦略についての議論を行います。

### ○プログラム

- 13:30- 開会挨拶：名古屋大学理事 宮田隆司教授
- 13:40- 基調講演&質疑（逐次通訳）  
Prof. Edward B. Barbier(University of Wyoming)  
「自然資産としての生態系 Ecosystems as Natural Assets」
- 14:50- 休憩
- 15:20- パネルディスカッション&討論
  - ・コーディネーター：井村秀文特任教授（名古屋大学環境学研究科）
  - ・海外招聘者：Prof. Edward B. Barbier (University of Wyoming)
  - ・栗山浩一教授（京都大学）
  - ・林希一郎教授（名古屋大学エコトピア科学研究所）
  - ・黒田大三郎環境省参与
- 16:50- 閉会挨拶：環境経済・政策学会会長 細田衛士教授（慶応義塾大学）

### <参加申込み・お問い合わせ先>

○参加申込み：当日受付可ですが、事前に電子メールにて御名前、御所属をご連絡下さい。

申込先：事務局 伊東 e-mail : seeps2010@esi.nagoya-u.ac.jp

電話：052-747-6438 FAX：052-747-6438